Orange Smile
オレンジスマイル

ささえる。
つながる。

国保連みやざき

vol.7



西都原考古博物館（西都市）



宮崎県国民健康保険
イメージキャラクター
「オレンジくん」

CONTENTS

01　NEWS&TOPICS
- ●第 37 回宮崎県国保地域医療学会
  心豊かな地域包括医療・ケアの在り方を共有
- ●「令和 8 年度国保データベース（KDB）システム実務者研修会」を開催
- ●令和 8 年度国民健康保険関係者功績厚生労働大臣表彰
  長年の尽力に感謝

02　情報ひろば

03　国保連行事予定（令和 8 年 11 月～令和 9 年 1 月）

第 37 回宮崎県国保地域医療学会

心豊かな地域包括医療・ケアの在り方を共有

10 月 17 日（土）、第 37 回宮崎県国保地域医療学会をシーガイアコンベンションセンターにて集合形式で開催し、207 人の参加がありました。

本年度の学会は、メインテーマを例年どおり「心豊かな地域包括医療・ケアの実践を目指して」とし、サブテーマを「災害に備える地域医療 ― 国保直診の使命と連携 ―」として、実施しました。

本学会は、地域保険としての国民健康保険の理念を踏まえ、国民健康保険病院や診療所をはじめ、保健・医療・福祉の関係者が一堂に会し、地域包括医療・ケアの実践の方途を探求し相互研鑽を図ることを目的としております。

今回の学会では、最初に、国立病院機構本部　福島復興支援室　室長 小早川 義貴 氏による「災害と地域医療」と題した特別講演が行われました。



講師：国立病院機構本部 福島復興支援室
室長 小早川 義貴 氏

つづいて、地域での取組や医療機関内部での取組について、県内国民健康保険病院や診療所に勤務されている方々が 29 題の研究発表として報告を行い、活発な質疑応答も行われ、盛会のうちに終えることができました。

宮崎県国民健康保険診療施設連絡協議会は、今後も県、市町村と連携し、地域包括ケアの推進の支援に努めてまいります。



第 37 回宮崎県国保地域医療学会 学会長
中津留　邦展氏
（日南市立中部病院　院長）



学会の様子

お問い合わせ先　保険者支援課　保険者支援係
TEL 0985-25-5208 / FAX 0985-31-4388
E-mail:jigyou2@kokuhoren-miyazaki.or.jp

「令和８年度国保データベース（KDB）システム 実務者研修会」を開催

11 月９日（月）、市町村等の医療専門職及び保健事業従事者 34 人の出席のもと、国保データベース（KDB）システム実務者研修会を集合形式で開催しました。

本研修は、ＫＤＢシステムを活用して、地域の健康課題を的確に把握するとともに、データヘルス計画に基づく保健事業の企画・実施・評価につなげるための知識及び実践能力を習得することを目的としております。

本研修では、今年度リリースされた新機能「FBR・概数把握機能」について本会より説明し、国立保健医療科学院　生涯健康研究部　特任研究官である横山徹爾氏に、データヘルス計画に係るデータの読み解き手法について講演いただきました。デモデータを用いて読み解きをグループワークにて行い、とても有意義な研修となりました。

今年度はデータヘルス計画の中間評価の年であるため、引き続き本会では、県及び市町村、宮崎県後期高齢者医療広域連合との情報共有・連携強化を図り、本システムの活用支援に積極的に取り組んでまいります。



研修会の様子

お問い合わせ先　保険者支援課　保険者支援係
TEL 0985-25-5208 / FAX 0985-31-4388
E-mail: jigyou2@kokuhoren-miyazaki.or.jp

令和８年度国民健康保険関係者功績厚生労働大臣表彰

長年の尽力に感謝

本表彰は、長年にわたり国民健康保険の事業の発展に貢献された方を功績者として厚生労働大臣が表彰するものです。

本年度の表彰では、宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会より、１名の審査委員が受賞されました。





お問い合わせ先　総務企画課 総務財政係
TEL 0985-25-5059 / FAX 0985-83-3359
E-mail: soumu@kokuhoren-miyazaki.or.jp

こくほ随想
在宅復帰ということ

公益財団法人 日本建築衛生管理教育センター 理事長
宇都宮 啓

第5回で「入院･入所と在宅のボーダーレス」について触れたが、昔は「病気になったら入院し、治ったら帰る」というだけでまず問題なかった。というのは、厚生省（当時）による過去のデータからの計算では、大正9（1920）年には男性は現役引退後１.1年で死亡、妻も5.3年で死亡となっている。つまり、あくまで統計的データだが、医療は基本的に若い者対象であり、介護の問題もあまりなかったように思われる。その頃は家制度が重視され、三世代同居が一般的だったこと等から、介護の必要性が発生した場合には基本的に家族、中でも女性が家事の延長のような形で担うということが多く、その風潮は戦後まで続いた。ところが昭和36（1961）年には、男性は現役引退後12.4年、女性は16.3年、平成21（2009）年には男性は現役引退後15.8年、女性は23.4年生きると計算されたように、現役引退後の余命が加速度的に延びた。しかも、戦後は感染症による死亡が激減し、代わりに脳卒中やがん等が主となり、さらに医学の進歩により死なずに後遺症を残して生きることが多くなった。こうなると家族だけで介護を担うのは相当の負担になる。昭和38（1963）年に老人福祉法が制定され、老人福祉施設が整備されたが、それまでの価値観が残り、少なくとも平成12（2000）年に介護保険法が施行されるまでは「親を老人ホームに入れる」ことは介護をしない親不孝な家族と見られる風潮があった。

しかし、昭和48（1973）年に始まった老人医療費無料化により、老人ホームより聞こえの良い「病院」利用が促進され、いわゆる老人病院が増加し「社会的入院」として社会問題になった。つまり、多くの高齢者が病気をきっかけに生活から切り離される事になった。

昭和60（1985）年頃、東京23区で母の弟と同居していた祖母が脳卒中で倒れ、郊外の老人病院に入った。医学生だった私が見舞いに行ったある時、ヘルパーの女性が「おばあちゃんはだいぶしゃべれるようになったんだよ」と言って、絵本を持ってきて祖母に読ませようとした。しかし明治生まれだが大卒の祖母はプライドが許さなかったのだろう、頑として口を開かなかった。当時の介護はまだお手伝いさんの延長のようだった。祖母は医師国家試験の直前に亡くなったが、家に帰りたがっていた祖母の姿を忘れることができない。その後、私は厚生省（当時）に入省し、18年後に全国国民健康保険診療施設協議会会長の故山口昇先生から、「外科医として精力的に手術をしていたが、褥瘡や寝たきりで戻ってくる患者を診て、病院での治療だけではなく帰宅後の継続的な医療や看護等も必要な事に気付いたのが、地域包括ケアシステムを思いついたきっかけだった」と聞いた。その5年後、老人保健課長として地域包括ケア研究会の議論に関わるとともに、様々な現場を見学し、在宅復帰や在宅ケアの取組等を学んだ。

介護報酬改定では、医療と介護が一体になった在宅サービスを創設するとともに、老健施設に在宅復帰指標を作った。

そして、医療課長の時には、診療報酬改定で、全病棟・病床に在宅復帰指標を入れた。長期療養病棟・病床にまで入れたことについては驚かれ、ある新聞は「時々入院、ほぼ在宅」という見出しで記事にした。私としては、「一度入院したら死ぬまで家に帰れない」という状況を壊したかった。 5年前、難病を患い入院生活となった父は、「家で死にたい」と言い出した。病院や地域包括支援センターなどに相談したが、実家の近隣は在宅医療・介護提供者が少なく調整に手間取り、何とか退院日を決めて間もなくの夜、父は他界した。間に合わなかった。

今年の診療報酬改定では「質の高い在宅医療の推進」を掲げ、在宅医療充実体制加算を倍増させる等、大胆な改定となった。家に帰れる患者が増えることを切に願っている。

（記事提供　社会保険出版社）

著者プロフィール



宇都宮 啓

（うつのみや おさむ）

公益財団法人 日本建築衛生管理教育センター 理事長

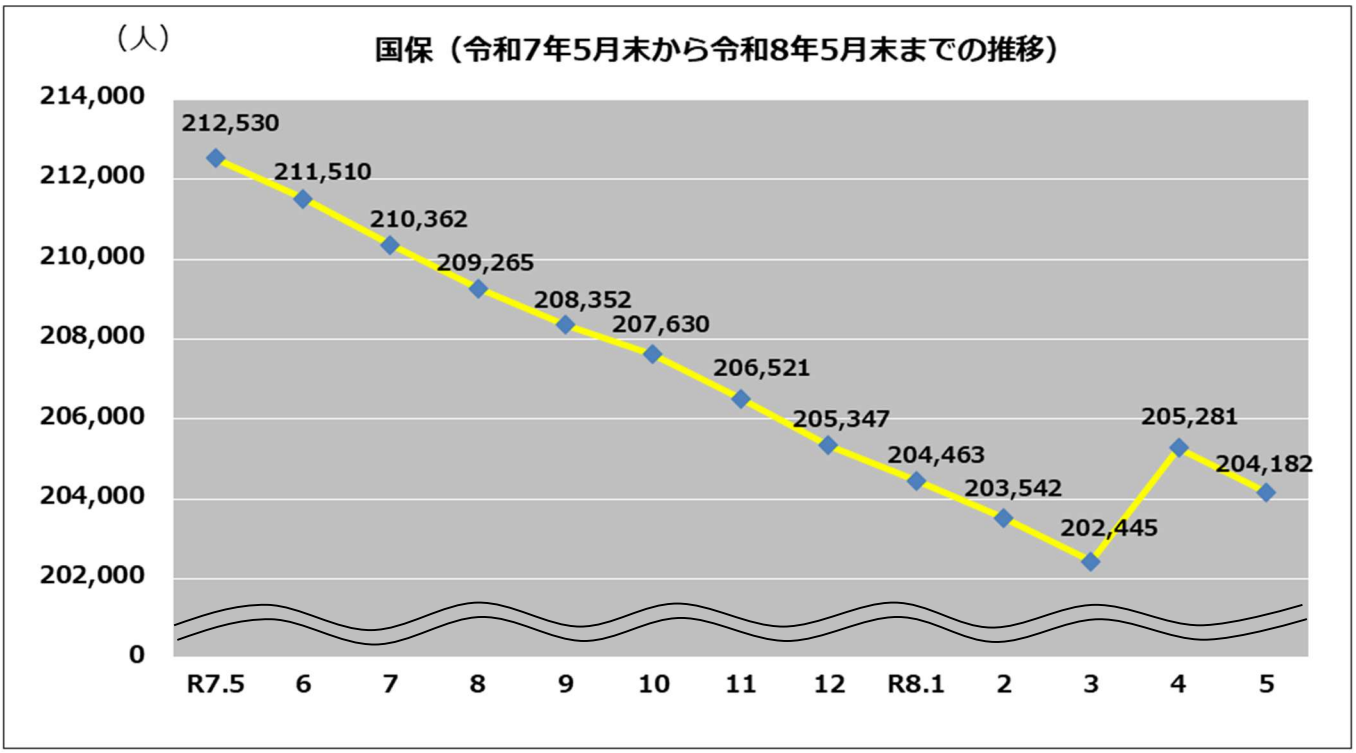
昭和61年4月　厚生省大臣官房統計情報部衛生統計課
昭和63年4月　岩手県環境保健部保健予防課(岩手県高次救急センターにて臨床研修)
平成元年4月　岩手県　久慈保健所
この間、厚生省、環境庁、世界保健機関（WHO）の各部署を歴任するとともに米国に留学2001年1月　内閣官房行政改革推進事務局特殊法人等改革推進室企画官
平成11年8月　厚生省保健医療局地域保健・健康増進栄養課長補佐
平成13年1月　厚生労働省健康局総務課長補佐
平成13年7月　厚生労働省大臣官房厚生科学課主任科学技術調整官
平成14年8月　岡山県保健福祉部長
平成16年7月　厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室長
平成18年9月　厚生労働省医政局研究開発振興課医療機器・情報室長
平成19年4月　厚生労働省大臣官房総務課企画官（保険局併任）
平成21年9月　厚生労働省老健局老人保健課長
平成24年9月　厚生労働省保険局医療課長
平成26年7月　国立研究開発法人国立国際医療研究センター企画戦略局長・国際医療協力局長
平成28年6月　厚生労働省成田空港検疫所長
平成29年7月　厚生労働省大臣官房生活衛生・食品安全審議官
平成30年7月　厚生労働省健康局長
平成31年7月　厚生労働省 退官

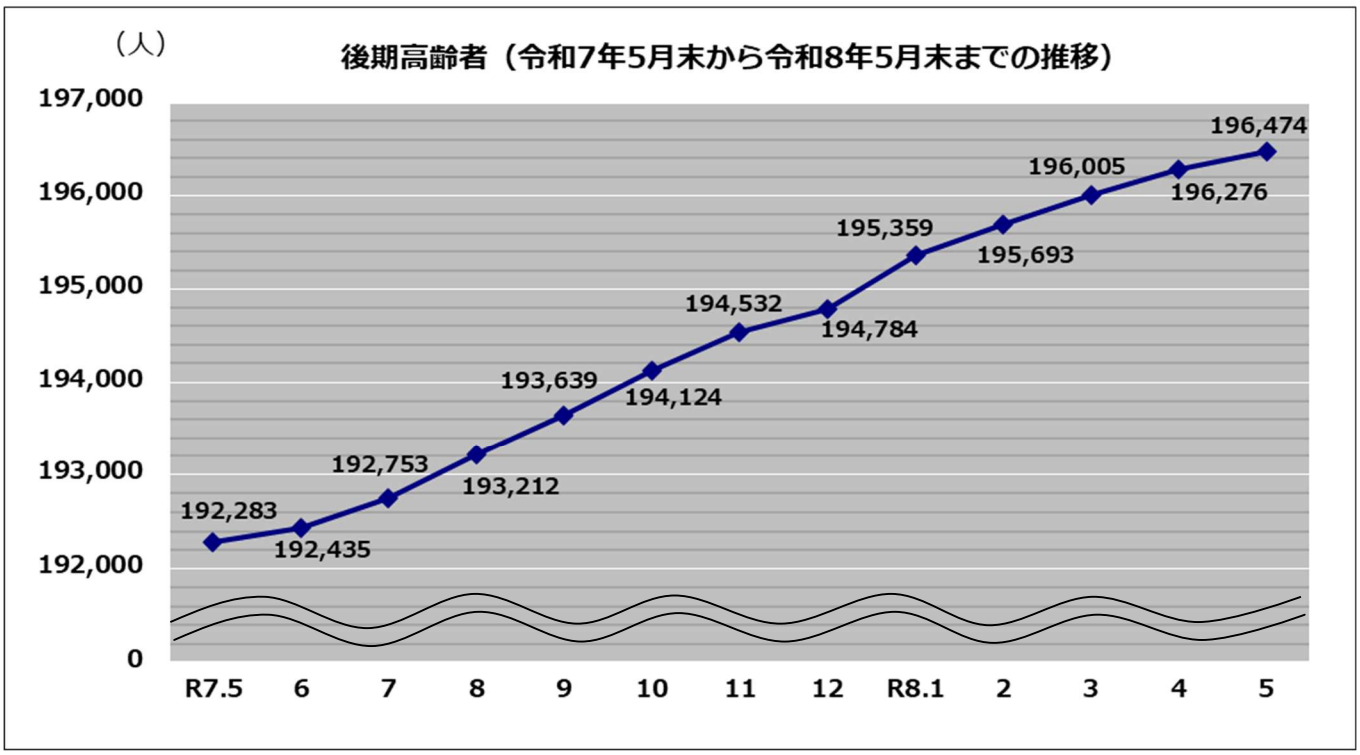
情報ひろば

データコーナー

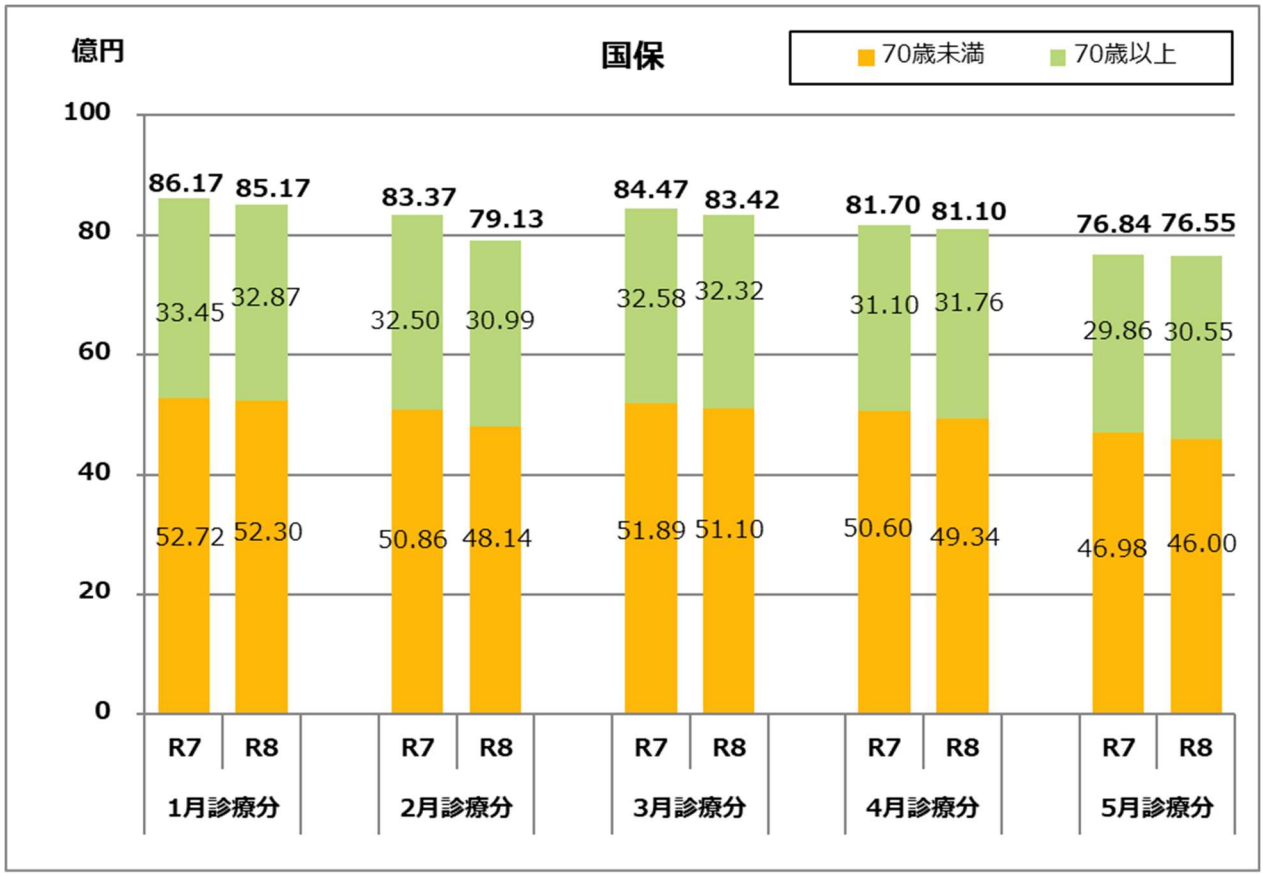
医療費データ

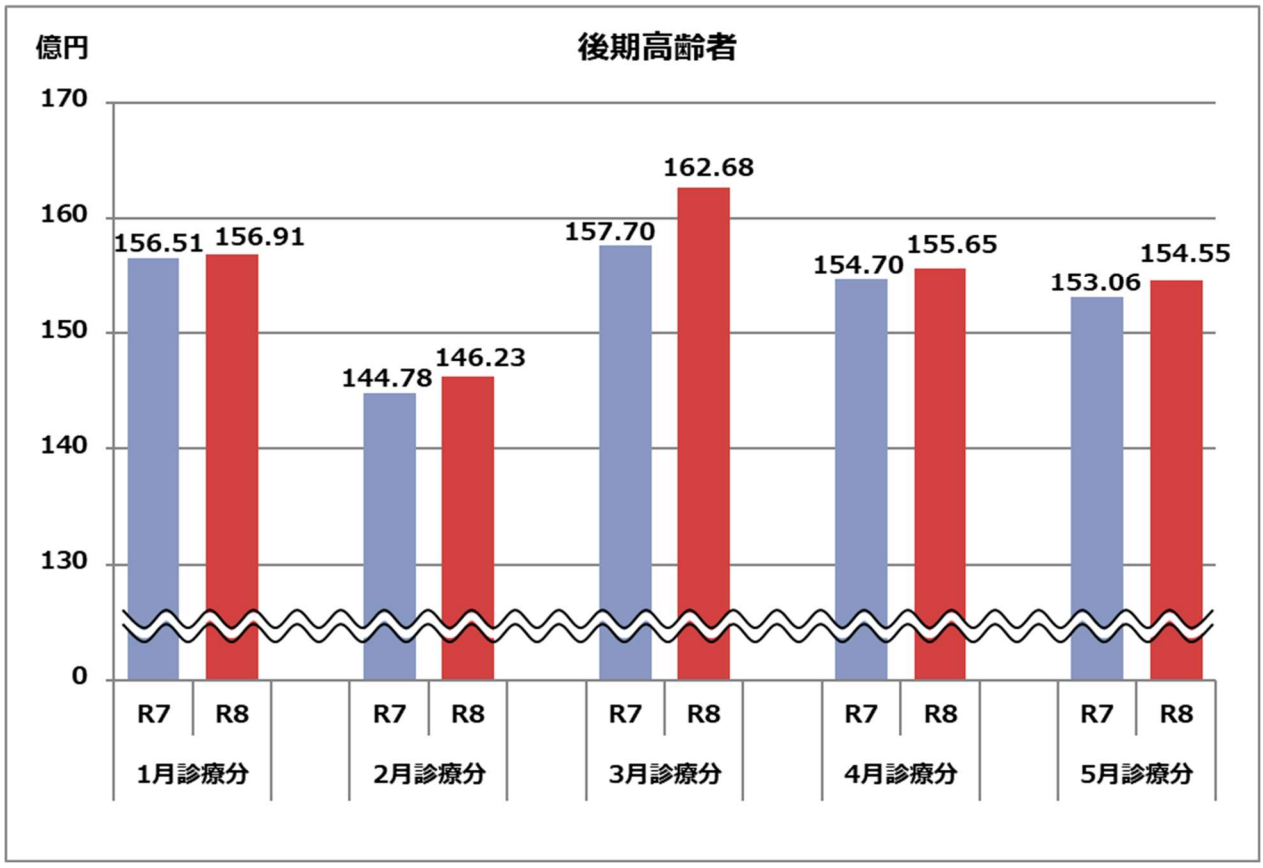
●被保険者の推移





●月別医療費


億円
国保
70歳未満
70歳以上
100
80
60
40
20
0
86.17
85.17
83.37
79.13
84.47
83.42
81.70
81.10
76.84
76.55
33.45
32.87
32.50
30.99
32.58
32.32
31.10
31.76
29.86
30.55
52.72
52.30
50.86
48.14
51.89
51.10
50.60
49.34
46.98
46.00
R7
R8
1月診療分
2月診療分
3月診療分
4月診療分
5月診療分


億円
後期高齢者
170
160
150
140
130
0
156.51
156.91
144.78
146.23
157.70
162.68
154.70
155.65
153.06
154.55
R7
R8
1月診療分
2月診療分
3月診療分
4月診療分
5月診療分

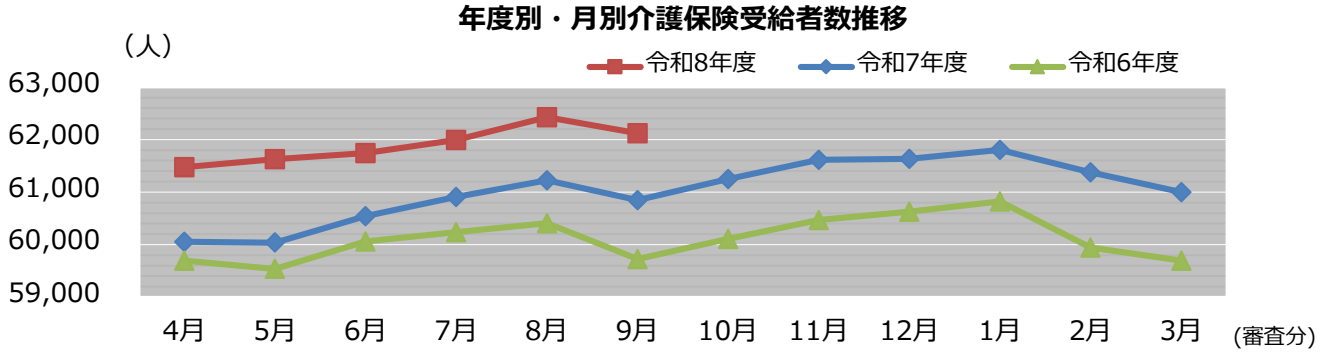
●国保 １人当たりの医療費（令和８年３月診療分～令和８年５月診療分）

市町村	１人当たり医療費（円）				前年度比（%）
	令和７年３月～令和７年５月		令和８年３月～令和８年５月		
		順位		順位	
宮崎市	109,359	21	112,759	20	103.1
都城市	120,375	11	117,319	15	97.5
延岡市	114,198	16	117,222	16	102.6
日南市	137,978	5	143,422	4	103.9
小林市	123,802	10	127,720	11	103.2
日向市	125,391	9	129,072	10	102.9
串間市	128,401	7	136,768	7	106.5
西都市	111,814	19	110,389	21	98.7
えびの市	127,782	8	133,429	9	104.4
三股町	117,864	13	112,835	19	95.7
高原町	137,753	6	143,841	3	104.4
国富町	111,867	18	119,118	13	106.5
綾町	87,638	26	93,809	26	107.0
高鍋町	106,364	24	100,185	25	94.2
新富町	106,784	23	115,703	17	108.4
西米良村	195,940	1	189,365	1	96.6
木城町	107,242	22	114,019	18	106.3
川南町	110,950	20	108,625	22	97.9
都農町	96,801	25	102,745	24	106.1
門川町	112,605	17	125,460	12	111.4
諸塚村	146,690	3	140,660	5	95.9
椎葉村	118,705	12	106,049	23	89.3
高千穂町	146,737	2	138,765	6	94.6
日之影町	143,689	4	166,470	2	115.9
五ヶ瀬町	116,487	15	136,601	8	117.3
美郷町	116,824	14	118,936	14	101.8
県全体	116,066		118,430		102.0

お問い合わせ先　情報・介護課 情報管理係
TEL 0985-25-5289 / FAX 0985-25-6348
E-mail:jyouhou@kokuhoren-miyazaki.or.jp

介護保険だより

●年度別・月別受給者推移



介護保険データ（令和８年４月審査分～令和８年９月審査分）

保険者名	確定件数状況			介護給付費（総合事業を含む）			
	R7.4月～R7.9月	R8.4月～R8.9月	前年同月比	R7.4月～R7.9月	R8.4月～R8.9月	前年同月比	
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	順位
宮崎市	304,757	314,202	103.1	17,639,140,702	18,095,401,852	102.6	13
都城市	133,837	138,166	103.2	8,219,998,183	8,442,690,476	102.7	10
延岡市	102,561	104,852	102.2	6,440,152,810	6,682,344,696	103.8	8
日南市	42,917	44,040	102.6	2,979,234,739	2,992,035,359	100.4	17
小林市	35,063	36,173	103.2	2,643,440,326	2,688,089,502	101.7	15
日向市	31,697	31,365	99.0	2,400,055,030	2,400,798,143	100.0	19
串間市	12,607	12,476	99.0	973,668,478	986,089,490	101.3	16
西都市	22,882	23,369	102.1	1,850,173,925	1,899,914,174	102.7	10
えびの市	17,974	17,887	99.5	1,302,272,842	1,356,824,099	104.2	5
三股町	16,579	16,548	99.8	1,001,665,305	997,216,132	99.6	21
高原町	7,574	7,699	101.7	596,132,470	622,321,133	104.4	4
国富町	15,257	15,853	103.9	1,067,926,778	1,094,183,059	102.5	14
綾町	4,688	5,215	111.2	395,277,115	415,970,078	105.2	3
高鍋町	10,849	10,852	100.0	762,832,572	750,953,772	98.4	23
新富町	8,440	8,360	99.1	670,086,959	671,753,646	100.2	18
西米良村	784	850	108.4	76,004,255	87,218,125	114.8	1
木城町	4,108	3,943	96.0	310,790,203	298,960,117	96.2	25
川南町	9,278	9,188	99.0	729,699,076	728,416,952	99.8	20
都農町	6,362	6,563	103.2	517,122,065	537,553,786	104.0	6
門川町	11,665	11,555	99.1	702,195,343	720,807,628	102.7	10
諸塚村	1,442	1,377	95.5	106,999,975	104,014,771	97.2	24
椎葉村	2,094	1,935	92.4	184,294,048	183,074,660	99.3	22
高千穂町	9,057	9,751	107.7	728,429,121	778,768,718	106.9	2
日之影町	2,678	2,917	108.9	288,659,090	298,970,424	103.6	9
五ヶ瀬町	2,110	2,214	104.9	217,977,134	209,016,683	95.9	26
美郷町	4,880	5,125	105.0	412,119,635	428,803,929	104.0	6
市町村計	822,140	842,475	102.5	53,216,348,179	54,472,191,404	102.4	

＊確定件数・給付費は国保連合会審査支払データによる。

＊給付費合計･･･介護給付費、特定入所者介護サービス費、
高額介護サービス費および総合事業費の合計。

＊前年度伸び率は、令和７年度を 100 とした場合の%の表示。

お問い合わせ先　情報・介護課 介護福祉係
TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260
E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

情報ひろば

国保連行事予定（令和８年 11 月～令和９年１月）

●11 月

日	曜	行事	場所等
6	金	第 2 回国保主管課長会議	オンライン会議形式
9	月	KDB 実務者研修会	国保連 本館 4 階大会議室
10	火	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
18	水	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
19	木	国保審査委員会（～24 日）	国保連 本館 4 階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
20	金	国保制度改善強化全国大会	砂防会館別館（東京都）
24	火	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
		あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
30	月	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係るセミナー	オンライン会議形式

●12 月

日	曜	行事	場所等
10	木	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
16	水	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
17	木	国保審査委員会（～21 日）	国保連 本館 4 階大会議室
		国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
21	月	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
22	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

●1 月

日	曜	行事	場所等
9	土	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室
10	日	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
15	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
16	土	国保審査委員会（～20 日）	国保連 本館 4 階大会議室
18	月	国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
20	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
21	木	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
26	火	第 3 回国保主管課長会議	オンライン会議形式

イベント用機材貸出のご案内

地域の健康づくりや健康寿命延伸に関する啓発、国保の周知等を目的とした健康まつりなどのイベント活動を支援するため、保険者等のみなさまに以下の機材の貸出しを行っております。



イベントでみなさまと
お会いできることをお待ち
しております。

■オレンジくん着ぐるみ

■体組成計

体重・体脂肪率、体の部位別の脂肪量、筋肉量などの測定を行うことができます。

■もの忘れ相談プログラム

モニターに表示される簡単な質問をタッチパネルで答えていくことで、アルツハイマー型認知症の疑いをチェックできます。（※付属のプリンターも貸出しております。）

■チェッカーくん（足指力測定器）

下肢機能を把握するために足指の力を測定します。

■健康パネル

色々な内容の掲示用パネルがありますので、様々なテーマのイベントに対応した健康パネルをご用意することができます。

■のぼり

■はっぴ

■テーブルクロス

■ロールアップバナー



もの忘れ相談プログラム



チェッカーくん



のぼり（４種類）



体組成計

ご案内用ウェブページＵＲＬ

https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp/insurance/lending/

お問い合わせ先　総務企画課 企画調査係
TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359
E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp



使ってみよう！
マイナ保険証

国保はみんなの健康づくりを応援します。

